



第118号

2014-2015年度 主題

国際会長：Wichian Boonmapajom “Mission with Faith”
「信念のあるミッション」
 アジア会長：Edward K. W. Ong “Through Love, Serve”
「愛を持って奉仕しよう」
 東日本区理事：渡辺 隆 **「原点に立って、未来へステップ」**
 湘南・沖縄部長：今城高之 **「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」**
 クラブ会長：辻 剛 **「初心に帰り、世のため、人のため」**
—喜びと楽しみを求めて—



今月の聖句

「イエスはお答えになった。「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と書いてある。」
(マタイによる福音書 4:4)

「YMCAと片岡健吉について」

田中 庸夫



「東京YMCA歴史130年」によると、1844年(明治13年)産業革命期のロンドンにおいて過酷な労働条件に苦しむ青年たちが祈りの会を発足させたのがYMCAの歴史の始まりとされています。日本では、1880年(明治13年)5月8日、京橋教会に若い牧師や民間の青年有志が結集して、日本で初めての東京YMCA(東京基督教青年会)が誕生したと記されています。

高知市のお城のそばにある高知教会は、1877年(明治10年)高知出身の板垣退助、片岡健吉ら21人によって設立されましたが、この高知教会に女学生時代に行っていた私の祖母は当時の事を覚えていて、私の幼少期、折に触れては「この教会には、片岡健吉という、新島 襄と一緒に同志社の創立にかかわった青年がいた」という話をよく聞かされていて、強く記憶に残っています。

後にこの片岡青年が、日本で初めてのYMCA設立に参画した人であることを知りました。記録によると、彼は土佐藩士の家に生まれ、戊辰戦争の際には官軍で活躍、明治維新後は新政府に出仕し、1871年(明治4年)から2年間ロンドンに留学、帰国後海軍中佐に任じられています。また、1879年(明治12年)高知県議会の初代議長になったほか、明治31年から亡くなった1903年(明治36年)まで衆議院議長も務めるなど政界でも活躍しています。彼は、1885年(明治18年)高知教会で洗礼を受けた敬虔なプロテスタントであり、東京YMCA第4代理事長(衆議院議長)や同志社第5代社長(現総長)に就任しています。

私は、戦後地方から仕事で上京した際、まだ泊まる手ごろなホテルや旅館が少なかった時代に、神田のYMCA会館を利用して助かっていたことを懐かしく思い出します。

かなりの年月が経ちましたが、今回改めて優れた郷土の先人「片岡健吉」の偉業を思い起こして記してみました。



(1898年に撮影された片岡健吉氏) ⇒

前月データ

例会出席	16名	在籍会員数	18名	各種記録	前月	累計
メンバー	15名	月間出席数	17名	使用済切手	800g	1,000g
ビジター	1名	メーキャップ	2名	プルタブ	kg	10.4kg
ゲスト	名	月間出席率	94%	スマイル	円	48,922円

2016年2月本例会
 日時：2016年2月26日(金)
 18:30~21:15
 場所：菊名「敦煌」
 受付(報告書)：岡田美和
 司会：岡田勝美
 プログラム：
 第1部 本例会
 開会点鐘 辻 剛会長
 ワイズソング・信条 一同
 今月の聖句 相賀牧師
 ゲスト・ビジター紹介司会者
 会長挨拶 辻 剛会長
 ゲスト挨拶 茂木 雄さん
 卓話
 「福島の子どもたちと共に」
 北Y健康教育主任
 藤澤幸隆さん
 誕生祝い
 2月17日 山添 訓さん
 各種アピール
 閉会点鐘 辻 剛会長

第2部 交流会
 司会：久保勝昭
 食前祈祷 鈴木 茂
 乾杯 今城高之
 会食
 北Y運営委員・スタッフ紹介
 「東本郷ケアプラザについて」
 ワイズメンバー自己紹介
 YMCAの歌 一同
 閉会挨拶 生井館長

<1 月本例会報告>

日時:2016年1月22日(金) 18:30~20:30

会場:かけはし都筑

参加者:今城H・T、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木K・S、

田中、辻Ts、生井、林M・S、福島、横田

ビジター:太田勝人さん(東京世田谷クラブ)

今月の例会は、会則に定められた次年度のクラブ役員人事を決定する総会を中心としたプログラムが組まれました。

辻会長は、新年の挨拶として、ブリテンに掲載された年頭所感を読み上げ、クラブ会長として、また東日本区の文献・組織検討委員会委員として、下半期に向けて気合十分のスタートとなりました。

総会の議案は、次年度のクラブ役員人事の1件のみで、次期会長から次の通り提案され、承認されました。

会長	林 茂博	災ボラネット担当兼務
副会長	今城 宏子	みんなの家・TKB担当兼務
書記	岡田 美和	
会計	鈴木 茂	IBC担当兼務
直前会長	辻 剛	東日本大震災支援担当兼務
チャプレン	相賀 昇	
監事	田中 庸夫	
担当主事	生井 知三	
YMCAサービス	横田 孝久	北Yサービス担当
YMCAサービス	久保 勝昭	東本郷町ケアプラザ担当
YMCAサービス	岡田 勝美	東本郷町ケアプラザ担当
地域奉仕	岡崎さよ子	傾聴ボラ担当
地域奉仕	鈴木 恭子	調理ボラ担当
地域奉仕	辻 孝子	調理ボラ担当
地域奉仕	林 理子	社協・アーモンド担当
国際・交流	福島佐世子	BF使用済み切手収集担当
ユース	山添 訓	
ブリテン・広報	今城 高之	YOU&コンサート担当兼務

4月本例会の卓話者、東京世田谷クラブの太田勝人さんが、経堂からの所要時間を確かめるため、ビジターとして参加してくださいました。

懇親会にも参加してください、有意義な意見交換と親睦の時を持つことができました。

4月例会での卓話題は「日本の学校教育に提言したい事」、副題として——わが子のドイツとUSAでの教育を実体験して——を予定されています。期待して再会の時を楽しみに待ちたいと思います。

(林 茂博 記)

<2月TOF事務例会報告>

日時:2016年2月9日(火) 18:00-20:15

会場:田園都筑教会

出席者:今城H、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木S・K、田中、

辻Ts、林M、福島、横田

ゲスト:高松満至さん

田園都筑教会にピンク服、ピンクシャツの面々が集ま

りました。そう今日はYMCAの「ピンクシャツデー」です。「いじめのない社会を目指します」という取り組みは横浜YMCAから広がっています。そこでまず写真を一枚撮りました。



また今月は「TOF」の強調月間です。恒例の懇親会ではその意を十分に汲み、且つ会員の意向に沿って「豚汁、おむすび」となりました。つづきクラブ女性陣「TKB」による豚汁の良い匂いのなか事務例会は始まりました。

◇ 協議

1. 各種献金の件(辻Ts、鈴木S)・・・クラブ10周年を記念して献金をしたい。会長・会計とで相談して決めた。
 2. インターナショナル・ユース・コンボケーションの件(辻Ts)・・・つづきクラブからの推薦者はなし。
 3. 使用済み切手納品の件(辻Ts)・・・2月中に、引き続き協力してほしい。
 4. 横浜北YMCA交流会の件(辻Ts)・・・2/26(金)本例会を兼ねて交流会を行う。交流会は菊名 敦煌(中華料理)にて行う。YMCAのリーダー等にはワイズが会費補助をさせてもらう。
 5. みんなの家10周年祝会の件(辻Ts)・・・2/28(日) 10:30~祝会 13:30~14:30 記念コンサートを都築地域活動ホーム「草笛」にて行う。つづきクラブは会員なので祝い金(一万円)を持参する。
 6. つづきクラブ10周年記念事業チームの状況確認
 - 記念誌(鈴木S)・・・目次兼企画書と各種見本を配り説明した。担当者は4月15日までに提出のこと。
 - 会員増強(横田)・・・候補者を前回説明したリストに記載し、2月例会に提出してほしい。
 - 記念例会(辻Ts)・・・5/21(日)13:00~富士山YMCAにて行う。各関係者には既にPRを始めた。
- ◇ 報告・連絡・確認
1. 2・3月の予定確認(年間予定表にて)(辻Ts)・・・2/11(木)横浜YMCA会員大会出席者確認(辻Ts)・・・参加時間は自由だが、つづきクラブの会員が各担当を担っているので行ける者は朝から行ってほしい。
 2. 2・3月のCS活動確認(月別担当者予定表にて)(辻Ts)・・・
 - 前回の実績報告、次回の担当者変更など。

3. 東日本大震災支援活動で訪問している南保育所が住民減少で他の保育所と統合された。祝い金を出したい。
 4. 第3回湘南・沖縄部の役員会及び次年度次期部長選考委員会の報告(辻T s)・・・次年度次期部長は横浜クラブの金子ワイズを部評議会に推薦する。
 5. 「みんなの家」報告(COCO)(今城H)・・・
 6. 「みんなの家」報告(ポピー)(鈴木K)・・・
 7. 「アーモンド」報告(林M)・・・
- 今月のマーシャル担当久保・岡田Mワイズ、また豚汁のTKBの方々お疲れさまでした。ファンでも膨らんだようです。(岡田 勝美 記)

＜都筑区社会福祉協議会関係諸報告＞

- 1月18日 災ボラネット運営委員会
- ◇ 1/23 開催の都筑区主催・地域防災拠点運営委員研修会での役割分担・ボランティア依頼受付票の様式改訂等を協議。
- 1月20日 13:30～15:30 社協ボランティア交流会
- ◇ 社協のボランティアセンターに登録された92グループと社協会員登録された11グループの合計103グループを対象とした交流会で、47のグループと4地域ケアプラザの代表が参加した交流会。多種多様なボランティアグループが区内で活動しているか、再認識した交流会でした。
- 同日 15:30～16:30 ボランティア・市民活動等分科会
- ◇ 社協に会員登録した11グループの定例会で、つづきワイズから林 理子さん、新規会員登録した災ボラネットから林 茂博が参加しました。
- 1月23日 都筑区地域防災拠点運営委員研修会
- ◇ 港北区からの見学・応援者を含めて19名が災ボラネットから参加し、訓練の様子はタウンニュース1月28日号で紹介されました。
- 同日 13:00～15:00 災ボラネットDIG訓練
- ◇ 注) DIGとは、Disaster(災害)Imagination(想像力)Game(ゲーム)の頭文字を取った図上訓練。
 - 2/6 市ボラ主催の全市DIG訓練に備え、都筑区の防災マップに自然条件・町の構造等を書き込む。
- 1月28日 18:00～20:30 市ボラDIG予習研修
- ◇ 桜木町にある横浜市健康福祉総合センターで開催された、初級者訓練に参加。
- 2月5日 10:30～12:00 福祉保健活動拠点[かけはし都筑]拠点団体交流会
- ◇ 「かけはし都筑」は、都筑区社協が委託管理する福祉保健活動拠点で、その施設を利用する12団体が参加して交流会が開催されました。ボランティアグループとは異なったジャンルの団体を知る良い機会となりました。
- 2月6日 13:00～16:00 市ボラDIG訓練
- ◇ 市内12区48名が参加し、各区災ボラセンター立ち上げ報告・他区への支援等の訓練が行われました。
- 2月8日 災ボラ運営委員会 (林 茂博 記)

＜沖縄2クラブ部長公式訪問参加報告＞

日程：2016年1月30日(土)～31日(日)

沖縄那覇クラブ・沖縄クラブ合同例会

日時：1月30日17:30～20:30

会場：沖縄YMCA

つづきクラブ参加者：今城高之・宏子、岡田勝美、鈴木 茂、辻 剛、林 茂博・理子

その日は、寒い朝であった。前日の天気予報では、1月30日(土)の朝は関東地方でも降雪が予想されており、羽田空港行き連絡バスの渋滞、遅延が心配された程であった。幸い当日は降雪がなく、今城部長以下つづきクラブからの沖縄公式訪問参加者7名全員は、出発1時間程前に無事羽田空港に到着した。

私たちが搭乗した羽田空港10:25発ANA469便は、ほぼ定刻(13:20)に那覇空港に到着したが、驚いたことに那覇の気温は20℃、少し厚着をしていた私たちは汗ばむほどであった。数日前には沖縄でも、数十年ぶりに降雪があったと聞いていたので、この時期は沖縄でも日によって寒暖の差が大きいということであろう。

空港で軽い昼食をとった後、今期部役員の今城高之さん、岡田勝美さん、辻 剛さん、林 茂博さんの4名は、部役員会出席のため沖縄YMCAに直行された。今城宏子さん、林 理子さんと私の3名は、まずホテルでのチェックインを済ませた上で、国際通りの「牧志市場」へ行き、ぶらぶらと珍しいお店の見物や土産物の買い物を楽しんだ後、沖縄那覇クラブ・沖縄クラブ合同例会に出席のため、沖縄YMCAに向かった。



合同例会は、沖縄那覇クラブ・比嘉義彦さんの司会のもとに進められ、開会点鐘、ワイズソング・ワイズ信条に続いて、知念一郎・沖縄YMCA理事長より、ヨハネ福音書17:21に基づく奨励とお祈りがあった。奨励の中で知念理事長は、YMCAのシンボルマークの中に記載されたこの福音書の聖句は、イエス・キリストにあってすべての人が一つとなることを意味しており、YMCAが世界のエキュメニカル運動と平和運動を目指してきた最初の国際的な団体であることを再確認したい、とのお話があった。また、沖縄YMCAは近年人材面、財政面ともに極めて厳しい状況にあり、ワイズメンズクラブに全面的に支えられてきたことへの感謝の辞があった。



続いて今城部長から、今期の湘南・沖縄部事業方針とこれまでの活動実績の報告とともに、今年も部長公式沖縄訪問を無事実施することができたことへの感謝の挨拶があった。

今回の沖縄訪問のゲストとして参加された浅羽俊一郎・東日本区ユース事業主任（東京山手クラブ）からもご挨拶をいただいた。



今期のユース事業主任主題は「もっと若者に歩み寄ろうぜ！」であるが、近年、ワイズ活動における若者との接触、若者との協働の希薄化が問題視されている現状に対し、“若者が来ないならこちらから出向く”必要があるとして、たとえばユースクラブ等が何かのボランティア活動をしているのであれば、ワイズクラブもそれに参加させてもらってはどうか、と訴えておられたのが印象に残った。



記念写真撮影を挟んで、大森節子さん（沖縄那覇クラブ）の食前の祈り、若木一美・次期湘南・沖縄部長（横浜とつかクラブ）の乾杯により、お待ちかねの懇親・交流会がスタートした。大森節子さん手作りの豪華な沖縄郷土料理がテーブルに並べられ、ビール、泡盛等とともに

に賞味させていただいた。



ゲスト・ビジターの紹介、スピーチや「みんなで歌いましょう」というアトラクションなども用意され、充実した会食、懇談の時間を過ごすことができた。

（鈴木 茂 記）

＜第3回湘南・沖縄部役員会及び次年度次期部長選考委員会報告＞

この度湘南・沖縄部長の沖縄那覇クラブおよび沖縄クラブ公式訪問時に開催された第3回役員会および次年度次期部長選考委員会に出席しましたのでご報告致します。

日時 2016年1月30日(土) 15:25～17:00

場所 沖縄YMCA

出席者/13名+委任状/5名



1. 部長選考委員会

(1) 次年度次期部長の推薦

今城部長より、厚木クラブの堀田哲郎会長に依頼したが諸般の事情から固辞されたことを含めこれまでの経緯の説明があった。その後、横浜クラブに検討をお願いし、金子功会長が受けて下さるとの回答を頂いた。従って、当委員会として金子功氏を次年度次期部長として推薦したい。最終的には後日開催する第2回部評議会にて正式に承認を得ることとしたい、旨の発言があり、全員これを了承した。

※ 金子会長から、“過去11年間の各クラブの部長輩出状況等を勘案すると横浜クラブが引き受けざるを得ない状況に鑑み、度々クラブ内で検討した結果、受けることにした”とのコメントがあった。

(2) 協議

出席者から部長選出に関し、

- ・「順番制」の意味がよくわからない。
- ・「順番制」は部則・細則に規定はない。ルール化するなら作成すべき。
- ・出来ない者に無理強いするのは困る。その意味で「順

番制」には無理がある。

・「部則改正委員会」を設置して検討すべき。
等々の意見が出たことを受けて、早急に部則改正委員会を立ち上げて検討することにした。

2. 第3回役員会

※ 冒頭、今城部長より、本来第2回部評議会を開催する予定だったが出席者が少なく、定足数を満たすことが出来ず評議会は成立しなくなったので、役員会に切り替えて開催することにした旨の説明があり、同時に遺憾の意を表明された。湘南・沖縄部の特殊性を勘案して出席義務者、定足数等の見直しについても部則改正委員会で検討することとした。

第1号議案 部行事日程に関する件

(1) 部研修会について

今城部長から、「1泊2日ベースの部主催研修会を開催するべく検討してきたが諸般の事情から、今年度の開催は見送りたい」との提案があった。開催時期の前提条件を5月と限定して検討したが様々な行事等との調整がつかなかったのが主な理由とのことだった。

【審議】

・1泊研修は中止にするとしても、今後開催される評議会、役員会の後に小規模な研修会の実施について検討すべき。

・横浜クラブの研修会は予定通り実施する。
・横浜つづきクラブの設立10周年記念例会で実施したらどうか。

等々の意見が出たが、最終的には次回評議会にて正式に承認を得ることを条件に、役員会としては「見送り」を了承した。

但し、今後の評議会後などに小規模な研修会実施について検討を行うこととした。

(2) 次年度部会について

若木一美次期部長より、「次年度部会については第1回役員会で概要を説明しご了承いただいたが、4月頃緩やかな実行委員会を立ち上げて今後に備えたいと考えている。従って、これまでお話した中味については公表するのはもう暫く待ってほしい。」との要請があり、全員これを了承した。

(3) 次期クラブ会長・部役員研修会の件

林茂博・部書記より説明があり、出席義務者は次期クラブ会長と次期部役員であることを確認した。

※ 若木一美次期部長より、事業主査については、地域奉仕：横浜クラブ、会員増強：金沢八景、国際・交流：鎌倉クラブ、ユース：厚木クラブにそれぞれお願いしたいとの要請があった。

(筆者注) 本日、若木次期部長より、FAXにて次期部書記：加藤利榮ワイズ、次期会計：小俣妙子ワイズの連絡があった。

第2号議案 第2回部長公式訪問に関する件

今城部長より、各クラブの希望日に訪問したいとの申

し入れがあり、取り敢えず2月6日(土) 横浜とつかクラブ、2月9日(火) 鎌倉クラブの日程を決定した。

【報告・連絡事項】：省略

【終りに】今回も沖縄那覇クラブ・沖縄クラブの皆様には、役員会、合同例会、懇親交流会、翌日のエクスカーションと全てに心のこもった準備をして頂き厚く御礼申し上げます。とくに沖縄那覇クラブの屋良会長には最初から最後までお世話頂き感謝致します。(辻 剛 記)

湘南・沖縄部 部長公式訪問 特別エクスカーションに参加して

1/30(土)の部長公式訪問に続いて、翌日はエクスカーションが用意されました。参加者の社会派要望に応じて組まれたのが下記の行程です。

1 世界遺産「今帰仁城址」と緋寒桜祭り



2 辺野古基地建設場所



3 「さとうきび畑」歌碑

4 「チビチリガマ」

5 米軍普天間基地＝オスプレイ常駐基地

事前に用意された資料と案内で心に残ったことを少し話します。

3「さとうきび畑」歌碑では、さとうきび畑の向こうに大海原が広がっていました。長い歌詞と状況が彷彿されました。

4「チビチリガマ」は格別でした。説明では「140名の住民が避難していました。民間人は殺さないという米兵の言葉を信じられない数人の住民が、竹槍をもって米軍に反撃したのです。米軍は反撃しました。避難民は動揺し、地区の指導者の“自決せよ”の言葉に、鎌や包丁、毒薬などで家族が殺しあうという惨劇が繰り広げられたのでした。暗闇の洞窟の中、83名が死亡、その6割が18歳以下の子供でした。この集団自決を生み出した伏線は・・・」
沖縄には「命(ぬち) どう宝」という言葉があるそうです。命が一番大切であるという意味です。

この外、辺野古基地建設反対の座り込みの人々やオスプレイ常駐基地など、社会派を自認する参加者たちは大いに心引き締めるエクスカーションでした。お世話になった沖縄那覇クラブの皆様にご改めて感謝します。

(岡田 勝美 記)

<横浜北YMCAだより>

2016年4月から横浜北YMCAでは、新たなプログラムとして児童発達支援事業「YMCA児童発達支援きくな」の活動がはじまります。

児童発達支援事業とは、日常生活における基本的な動作を習得したり、集団生活に適応するための個別の療育プログラムを個別支援計画に基づき提供していきます。未就学の障がい児および学籍のない18歳未満の障がい児が対象のプログラムです。

この児童発達支援（障がい児通所支援）事業では、横浜市や地域の福祉保健センター（区役所）と連携しながらプログラムが進められていきます。

横浜YMCAの発達・教育支援プログラムは、学習や友だちとの関わりなどにつまずきのある子ども達をサポートすることを願って1995年4月にスタートしました。この20年の間、子ども達やその家庭の支援のため活動が進められてきました。

運動を含め、様々な療育的アプローチのプログラムを通して「楽しさ」「できた」の経験を多く重ねてもらい、その中で友達との関わりも大切にしながら「体験」を通して学び・育ち、自己肯定感を育んでもらえるよう工夫を凝らしてきました。

新たにスタートする『YMCA児童発達支援きくな』のプログラムでも「教える」ではなく「能力を引き出す」ように子ども達の個性を大切にしながら進められていきます。一人ひとりの発達の課題と向き合っ、子どもたちの今とこれからを支えていきます。

ぜひ、このプログラムもご支援いただけますようお願いいたします。

横浜北YMCA 館長 生井 知三

《3月行事予定》

- 3月 1日 YY's 協議会
- 3月 8日 北YMCAうたごえ広場
- 3月19日 北YMCA運営委員会
- 3月19日～ 春季講習会・スプリングキャンプ



冬のハーモニーキャンプより

後期会費の納入を、お願いいたします。

横浜銀行 菊名支店（普通）1330228

名義：横浜つぎワイズメン&ウィメンズクラブ

2月は区費・各種献金の締め切り月です。

<第2回部長公式訪問随行記>**横浜とつかクラブ**

2月6日(土)18:30~20:30

小侯さんの司会で始められた例会は、女性の出席者が男性より多いというウーマンパワーに満ちた例会でした。開会セレモニーに続くプログラムは、ウェルネスアワー。森脇インストラクターのリードで、コグニサイズのエクソサイズで脳と体の活性化！



卓話は、吉原会長による「射撃と健康」。スポーツ競技としての射撃について、資料と銃の実物も持参され、普段は何えない興味深いお話でした。

鎌倉クラブ

2月9日(火)18:30~20:30



長野邦子さんの入会式が部長立会いの下に行われました。長野さんは鎌倉Y運営委員であり、鎌倉教会で永年幼児教育に携わられた方です。素晴らしい会員が与えられた事を共に喜びました。卓話は、鎌倉車椅子と共に歩む会会長の兵藤芳郎さんから活動報告を伺いました。

(部書記 林 茂博 記)

3月例会予告

3月本例会は、定例開催日の第4金曜日25日がイエス・キリストが十字架に架かった受難日なので、例会日を一日前の24日木曜日に変更いたします。卓話は、溝部文子さんに認知症予防の「コグニサイズについて」実技も含めてご指導いただきます。ご期待ください。

本例会:3月24日(木)18:30~20:30

例会場:かけはし都筑

3月事務例会は、8日(火)18:00から田園都筑教会で行います。10周年記念事業の進捗状況を確認し、詳細事項を検討します。各グループは、ご準備ください。